キッズデザインのイベントで ワークショップ体験&トーク開催

ユネスコ認定のデザイン都市、名古屋。
その事業のひとつとして「キッズデザイン2010」のイベントが開催され、シンポジウムやワークショップなどが行われました。
今回は楽しいワークショップ体験の模様や、
トークイベントの内容についてご紹介いたします。

Activity report 01 キッズデザイン 親子でワークショップ

子どもと一緒にデザインする! 子どもが自分で作ってみるって大事!

ー今回のキッズデザインでの活動についておしえてください。

今年10月に生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催され、世界中から注目を集める名古屋ですが、実はユネスコの認定デザイン都市でもあります。名古屋は今、創造性あふれる街づくりをめざし、さまざまな事業を行っています。昨年私は、その事業をサポートするための「クリエイティブ・デザインシティなごや推進事業実行委員会」（＊1）のメンバーをさせていただきました。その事務局がある国際デザインセンターでは、子どものためのデザインイベントも企画されています。2／21には「親子デザインワークショップ」が開催され、息子と参加しました。

ワークショップは5つのコースがあり、素材・コンセプトがそれぞれ違いどれも魅力的。「ビニールバルーンを作って中に入ろう」では身近な材料で大きなカラフル・バルーン作りました。子ども達が出来上がった巨大バルーンの中で、きゃっきゃとはしゃいでいること自体がアート・パフォーマンス！そのお隣の「竹とんぼづくり」では対照的に黙々と竹を削る真剣な表情の子どもたち。昔は裏山で竹はすぐに手に入った素材でしたが、今は身近にはないようです。参加者の皆さんは竹を使うのは始めてとのこと。でも与えてあげれば子どもは意欲的。ヤスリや錐を上手く使いこなします。自然の素材や危険な道具にもチャレンジです！子どもにはまだ早いと大人が決めてはいけないようです。おおらかな気持ちで何でもトライさせてあげたいですね。

私が息子と参加したのは「手形をつくろう」。これは普段使うことのない歯科医用石膏を使って、子どもの手の複製を作ります。珪藻土と水を調合して、微妙な加減でいい硬さを作り、手を入れて固め、型を作り、そこに石膏を流し込み固める…ワクワクしますね。こんな楽しいコト、子どもにどんどんやらせてあげたいものですね！同時に、型をとって製品が作られる「複製の原理」を知ることで、モノの見方もまた変わるでしょう。子どもは些細なことから多くのことを吸収する天才だと私は信じています。「何でも自分で作ってみる」って大事。

完成した可愛い手の複製は、9歳の息子の今を完全保存！尊い作品です。愛しい宝物の1つになりました。

Activity report 02 キッズデザイン トークイベント

大人も子どもも本物志向でいきましょ 子どもの感性をそのままに。

ー原田さんが考えるキッズデザインとは?

2／15開催「こどもと創るデザイン　こどものためのデザイン」シンポジウムで、私の考えるキッズデザインについてお話ししました。

我が家では息子が赤ちゃんの頃、プラスチックの割れない器を〝子ども向け〟にと新しく買うことはせず、家にあった小さめの陶器の器を〝子ども用〟にと使いました。赤ちゃんだからこそ本物志向。子ども向けの適当なもので過ごしてしまうなんてもったいない。プラスチックで食事をするのは味気ないし、本来のおいしさが伝わらない。そして、陶器は落としたら割れてしまう。形あるものは乱暴に扱うと壊れてしまう。だから大切に扱おうと、自然と気持ちが育ちます。おもちゃも同じ。素材や生産過程を大事に考えて丁寧につくられたおもちゃを選んできました。子どもには基本的なおもちゃさえあれば、他にあれもこれもと与えなくても、自分で遊びを考え出す能力が備わっています。正しい素材・道具さえあれば、ほしいものは自分でなんでもデザインし創れるのです。子ども達は、もともとみんな感性豊かなクリエイター、デザイナー。子どもの持つ天性そのままに育てるためには、大人が余分なモノを与えすぎない方がいいようですよ。子どもは生まれたその時から、感性冴えてますからね。

Activity report 03 木曽で味噌仕込み

自然の恵みに感謝して 手間ひまかける日本の心を伝えたい

ー所変わって加子母村での味噌仕込みはいかがでしたか?

只今親子でお味噌づくりに挑戦中。12月まで毎日豆糀（こうじ）をかき混ぜて我が家のお味噌を作るのです。手間と時間がかかるのですね。体験してみて初めて食の重みを感じています。

毎回親子で参加しています「なごや環境大学」（＊2）の講座〝こよみあそび〟の今回は味噌仕込み。バスで岐阜県中津川加子母に残る、昔ながらの地域共同の味噌の花付け作業所「糀室」へ行ってきました。大豆を蒸したり、炭で暖め糀菌を繁殖させたり、雪景色の中に糀室から湯気が上がり、作業をするお母さんたちのおしゃべり声が聞こえてくる、ここは和やかな地域団欒の場。この地域の1年分のお味噌がここで仕込まれます。私たちは「豆糀をはがす」作業を行い、豆糀を分けていただきました。あとは家で毎日お世話をして手前味噌に仕上げます。

子ども達には、自然の恵みに感謝して季節を感じて手間ひまかける日本の心や文化を伝えてゆきたいと思います。親にとっても子にとっても尊い体験となりました。

加子母の森からのおいしい湧き水「寒の水」もいただきました。流域の方々の努力と優しさで森が元気で川がきれい。そのおかげで私たちは街でもおいしいお水がいただけます。私が世話人の「コップなごや水基金」は3月29日にスタートします。おいしいお水に感謝して、レストランの無料のお水に対してお客様に寄付を募り、木曽川流域を支援する基金です。子ども達の未来のために、できることからやってみようと思います。

詳しくはcupnagoya.orgもしくはsatomiharada.comをご覧下さい。

原田 さとみ www.satomiharada.com

倫理的で持続可能なエシカル・ファッションや世界の貧困撲滅のためのモラルある貿易、フェアトレードの普及活動をはじめ、国際協力機構JICA中部サポーターや、「世界と出会う絵本ひろば"ルププ"」を主宰するなど多方面で活躍中。名古屋のおいしい水を生かした「コップなごや水基金」の主宰や、新しいコミュニティーづくりをめざすNPO「大ナゴヤ大学」の発起人でもある。

【主な活動】
- ●エシカル・ペネロープ主宰　●世界と出会う絵本ひろば"ルププ"主宰
- ●国際協力機構 JICA中部　なごや地球ひろば サポーター
- ●「コップなごや水基金」主宰　●フェアトレードタウンなごや推進委員会

原田さとみ主催「世界と出会う絵本ひろば"ルププ"」絵本の読み聞かせの会は、3月27日（土）午後2時から「JICA中部なごや地球ひろば」にて開催!

JICA中部なごや地球ひろば　http://www.jica.go.jp/nagoya-hiroba/index.html

デザイン都市宣言名古屋

才能を秘めた若いデザイナーの育成と交流を目指し開かれた国際コンペティション
「第7回 国際コンペティション 名古屋デザイン DO! 2010」
作品募集! 詳しくはこちら www.idcn.jp/compe/

＊2「なごや環境大学」　http://www.n-kd.jp/
「環境都市なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」進め、行動する市民、協働する市民として、「共に育つ（共育）」ことを目指し、市民・企業・学校などが企画・運営する共育講座です。

＊1 クリエイティブ・デザインシティなごや　http://www.creative-nagoya.jp/
デザインをテーマとする人材育成と、将来へつながる豊かな社会の実現に取り組み、デザインの「ちから」を借りて、気づきのきっかけをさまざまな事業に取り入れ、環境にやさしい都市への転換、地域の活性化など、名古屋の持つ資質・能力を一層向上させるとともに、その魅力を世界に向けて発信する活動を行っている。

企画・制作／中日新聞広告局